

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	周防灘ゼロエネ倶楽部			
H30採択グループ番号	07	—	0461	— 0723

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	省エネ性能の理解向上と実践を促しました。無料セミナー等を開催する事で新規ビルダー参加を促し6社を迎えました。勉強会を重ねて内4社で初めて補助金活用して頂きました(反面不得要領で3社4棟分でキャンセルがあった点は問題)。誤記,延期,取下等の案件発生防止の為に契約書や工程管理表提出と確実な履行を求めて精度を高めました。結果、本GPからLCCMを達成するお会社が誕生する等成果も上がりました。技術・デザイン・機能性も会員間で意見を交えてレベルアップを図っています。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/11	名称	周防灘ゼロエネ倶楽部H30年度初回会合		
	内容	北九州パレスにてH30年度G化事業変更点、注意点、手順等の説明会を実施。新規ビルダーも多々参加し盛況。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/06/09	名称	ハウスフェスタ2018		
	内容	6月8日,9日福岡国際センターにてヤマエ久野(株)主催ハウスフェスタ2018開催時にブースを設置し、各種補助金制度について業者様,施主様向けに説明会開催。7000名超のご来場あり。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/11/07	名称	どんとこい長期優良住宅建築講座	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	上記の長期優良住宅に関するセミナー実施。7年間開催継続中。ゼロエネ講座は講座ご卒業のお会社が多く初めて中止。代わりに個別訪問し説明。新規会員2社がセミナー後初めてグリーン化事業補助金を活用あり。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	同じ地域に在る工務店さんへ完工と承継を依頼。GP内での解決を優先する一方で、完成保証精度への加入を推奨。			
② H30年度における施工構成員の廃業	有			
対応内容	廃業や倒産(自己破産)に伴うリスクについてもGP内で共有し対応を事務局指示で実践することになっている。別途、入会ヒアリング時に完成保証制度への入会確認し推奨している。			

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	随時サイトを案内し開催日時をお知らせし参加を促している。同時に省エネの自社基準作成を強く促進し、余裕のある方へはインスペクター資格取得も推奨中。また、例会開催時にLCCM住宅建築を経験した会員さんに経過説明と一部ノウハウについて伝授して頂いた。			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	3社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	周防灘ゼロエネ倶楽部			
H30採択グループ番号	07	—	0461	— 0723

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/19	名称	2019年度採択後説明会		
	内容	19日～26日の何れかで開催。配分枠の報告と振分、変更点、重要点の再度説明、振分枠遂行と期限の重要性、事務局への相談と報告の義務、本年度開催セミナーの案内等について周知徹底させる。尚、本会合に不参加の会員に対しては例年通り初回配分枠の振分は行わない。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/06/15	名称	ハウスフェスタ2019		
	内容	福岡国際センターにて6月14日15日に施主様ビルダー様向け住宅関連展示会を開催。今年もブースを設けて、各種国策補助金案内やゼロエネ案件毎の説明を実施する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/09	名称	どんとこい長期優良住宅建築講座	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	「どんとこい長期優良住宅建築講座」「夏季ゼロエネ住宅建築集中講座」開催を予定。zeh講座は3ヶ月3回講座。何れも自社標準プランが出来るまで実務形式で行う。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	昨年同様にGP内でのバックアップを図る。会員には前提として住宅あんしん保証等への入会を強く推奨する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	省エネルギー技術講習会参加、会合時のH28年度省エネ基準の周知、BELSの理解と試み、グリーン化事業の背景にあるエネルギー問題の理解と使命等を通年呼びかけ、多数の資料、情報も提供。特に未経験工務店の意識向上を本年度強化する。						
省エネ化に対する取組み (改修)							
内容							

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	周防灘ゼロエネ倶楽部				
H30採択グループ番号	07	—	0461	—	0723

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	桁梁等に関して米松を使用する必要がある以外は全て九州産合法木材仕様を義務化している。建築エリアは福岡・山口西部・大分北部が主体であり各県で気候・風土に大きな差異はないが、総じて寒暖の差が大きい為断熱性能の向上には省エネ基準以上の仕様を推奨している。特に高効率給湯器は設置を必須とする。耐震対策としては耐力面材仕様を推奨し、壁倍率2.5倍の確保を呼び掛け。防腐防蟻処理も方法は問わないが義務化している。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	構造材に米松梁桁を使用しない、小国杉材や鹿児島県産認証材仕様の場合は地域材加算を優先する。但し、長尺材等は混合集成材の一部使用を認める。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有
内容	長年生産者の理解と協力を得ており、グリーン化案件に関しては欠品や相場高騰は経験なし。今期も産地から消費者を結ぶ役目を担い一連の地域経済に寄与する。会員に対しても相互の信頼関係について、地域社会貢献について強く意識付けする。
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有
内容	事務局とプレカット工場は安定供給に努め、特に木材製品、エコキュート、面材等のメーカー在庫、流通在庫の確認を怠らず、変動がある場合は都度会員へ即座に通知する。
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有
内容	資材の標準化は今期も継続。木材に限らず、対象外の建材や合板等のメーカーもことグリーン化案件に関しては欠品や納期遅延無き様に徹底指導している。また在庫量の連絡も依頼し、会員情報として随時提供。
④ 施工に関する統一ルール	有
内容	省エネ技術講習会に於いて学習した施工基準をGPの標準とする。特に未経験工務店については技術講習会への参加と共に、別途開催する長期優良住宅、ゼロエネ住宅のセミナー参加を強く推奨している。
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有
内容	維持保全計画書に基づき、築後1,2,3,5,10,20年毎の点検を実施。第三者機関を施工業者への事前連絡サービスを活用し、点検の時期や期間は施工業者が取決めする。
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有
内容	GPとしての実地検査は行わないが、施工検査の標準書は作成し施工業者等に順守と実行を求める。
⑦ 見積りに関する統一ルール	有
内容	事務局、プレカット工場にて案件毎に登録会員メーカー商品であるか、価格に異常値はないか、商材に錯誤はないか、数値・数量を満たしているか等を確認する。また、特に使用木材については産地、合法性、特徴、産地との繋がり等について施工説明を必須とする。
⑧ その他の共通ルール	有
内容	特になし

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	変動労働制への移行、連続3日以上の有給休暇取得、振休の完全なる実施等を事例を挙げて解説。働き易い職場環境作りを推奨。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	定年後の再雇用、エルダー契約を推奨。若手に対しては技術職・営業職の違いや国籍に関係のない給与体系の確立を会員へ推奨。
③ 社会保険への加入	有	内容	各社判断に委ねるも、随時事務局より職場環境改善は事例を紹介し改善を提案。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	事務局にて安全衛生に関する共通ルールを明文化し、会合時に各会員へ配布。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	周防灘ゼロエネ倶楽部				
H30採択グループ番号	07	—	0461	—	0723

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	和室を設け、畳の間を確保することを推奨する。
② 和瓦の活用	有	内容	太陽光設備を備えない場合は和瓦を施主提案する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	省エネ性能に配慮しつつ施主提案を行う。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	和紙クロス、珪藻土塗壁、天窓、地窓、灯取り窓、雪見障子、大川木工家具の紹介等を継続。今期は建具・家具向けに山の恵みを頂いて長期乾燥保存中の山口県産地松製材品を会員さんへ提案する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	会合の際の優良住宅建築事例紹介を継続。雑誌チルチンびとの定期購読を推奨。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	若手業者に対しては集中講座を通じた知識向上を促す。また各地で催されるイベントへの参画や自治体との対話を勧める。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	一部自治体に対して住まい方継承・街並み形成については有効な方法を直接的間接的に提案継続。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
<p>前々年は展示会場に南阿蘇村の和紙工房を招待し復興イベントを開催。前年は同じく展示会で被災地朝倉地区業者さんらの復興マルシェを催す。また会員各社が自発的に支援に向かった。今期は現在のところ具体的な予定はないが、7月会合の折に取組みを決定する。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
<p>状況が許す限り当該地区業者が実地検分し事務局への報告を義務付ける。事務局を中心に補給物資確保・配送・復興の為の資材や人員の収集を行う。ハザードマップ確認や防災訓練等は会員毎の備えとする。</p>